



発行所  
日刊自動車新聞社  
東京都港区海岸2丁目1番25号  
郵便番号105-0022  
電話 東京(03)3455-5321大代表  
©日刊自動車新聞社2012

5月11日  
(金曜日)

## ガラス破碎・ベルト切断 問題なし

### 緊急脱出ハンマー ーなど性能評価

国民生活センター

国民生活センターは10日、自動車用緊急脱出ハンマーの性能評価など商品テストの結果を公表した。それによるとウインドーガラスの破碎、シートベルトの切断といった機能は確保されているが、一部に所要時間が長いものもあった。シートベルト脱出ハンマーは交通事故や水没事故などの緊急時に車外に脱出する際、有効なツールとされる。同センターによるこの種の商品テストは2回目。

テスト対象銘柄は自動車メーカーの多くが純正指定する丸愛産業製造・販売の「レスキューマンⅢ」や写真など国産2点、オランダ製1点の計3点。不慮の事故など緊急時の車内からの脱出を想定し



てウインドーガラス破碎性能や、付随しているシートベルトカッターのベルト切断性能などについてテストした。

熟練技術者や一般のモニターがそれぞれの使用方法に従って試した結果、3銘柄ともシートベルトは切断し、ガラスは簡単に割れることが実証された。ただベルト切断では国産2点がともに所要時間2

秒未満だったのに対し、オランダ製は平均30秒以上を要し、緊急時の対応では疑問を残した。

同センターは商品テストを経た情報提供で、消費者には万一の緊急時に備えて脱出ハンマーおよびシートベルトカッターを用意することなどをアドバイスしている。また、事業者や行政にも正しい使用による性能認識や、機能・装備の必要性を消費者に広く周知、啓発するよう要望した。

消防白書や人口動態統計によると、近年は溺死や焼死など車内に閉じ込められて死亡する人が年間200人以上、脱出不能者2万人以上が報告されている。EUでは海抜の低いオランダなど多くの国で緊急脱出ハンマーの装備が常態化しているが、日本では一部で対応の遅れが指摘されている。